

授業科目 NO. 301 看護学原論 I (看護の構成概念)

Principles of Nursing Science I
(Concept and Construct of Nursing)

授業の形態：講義
 単位数(時間数)：2単位(30時間)
 開講年次・学期：1年次・前期
 必修・選択の別：必修
 キーワード：人間、健康、環境(社会)、生活、看護

1 金沢医科大学看護学部の到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学修目標

1) 一般目標 (GIO)

看護専門職として看護学の知識、技術、実践力を修得するための基盤となる知識、考え方として、看護の対象である人間の特徴、健康の定義、人間が健康であるための看護の機能と役割、看護の捉え方、看護活動の概要について理解できる。また、人間として、看護専門職として豊かな人間性と倫理観を涵養するために、対象者に対する権利擁護、倫理に基づく行動について考えることができる。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 看護とは何か、本質を考え、自分の考えを述べることができる。(①④)
- (2) 看護の主要概念である人間とは、健康とは、環境とは、生活とは、について説明できる。(②)
- (3) 人間のライフサイクル(身体、心理・精神、社会的特徴、発達課題、基本的欲求)と看護について説明できる。(②)
- (4) 看護の対象である家族、地域について説明できる。(②)
- (5) 健康の定義(日本国憲法、WHO憲章)、並びに健康レベルと看護について説明できる。(②)
- (6) 人間が健康であるための看護の機能と役割、チーム医療について説明できる。(②)
- (7) 看護の代表的先覚者(ナイチンゲール、ヘンダーソン等)による看護の捉え方を説明できる。(②)
- (8) 歴史の中での看護の捉え方の変遷を説明できる。(②)
- (9) 看護における法的基盤と養成制度を説明できる。(①)
- (10) 人間として看護職者として、倫理に基づき行動することについての考えを述べるができる。(①)
- (11) 対象と援助的関係を築くために、人間対人間の関係について考えることができる。(①)
- (12) 看護過程の展開について説明できる。(②)

3 学 修 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	70%
実習成績	%
レポート	30%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

5 教 育 担 当 者

科目責任者：松井 希代子

教 授 松井 希代子（基礎看護学）

6 教育担当者の実務経験

教育担当者は、看護師としての実務経験を有しています。

7 教 科 書

- 1) 茂野香おる他 著：系統看護学講座専門分野 I 基礎看護学[1] 看護学概論、医学書院
- 2) 茂野香おる他 著：系統看護学講座専門分野 I 基礎看護技術[1] 基礎看護学[2]、医学書院
- 3) V. ヘンダーソン著、湯槿ます他訳：看護の基本となるもの 再新装版、日本看護協会出版会
- 4) 手島恵：看護者の基本的責務 2023 年度版 日本看護協会出版会

8 推 薦 参 考 書

- 1) F. ナイチンゲール著、湯槿ます他訳：『看護覚え書』改訳第 7 版、現代社
- 2) 峰村淳子、石塚睦子：よくわかる看護職の倫理綱領 第 3 版、照林社

9 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業 1 コマにつき、事前学修・事後学修として計 180 分程度必要です。

事前の予習として、シラバスの講義情報から講義内容を確認して実施してください。

事前・事後に提出が必要なレポート課題を電子シラバスに掲載します。

課題は講義内でも提示します。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) 課題については、各自がよく考えてレポートに取り組むこと。提出されたレポートについて、講義内でコメントする。または、シラバスからコメントする。
- 2) 試験に関しては、試験後に結果を掲示し、希望者に解答を解説する期間を設ける。

11 履修上の注意事項

- 1) 出席は、出席管理システムおよび出席カードの提出で確認します。出席カードの未提出は欠席となるので必ず提出ください。
- 2) 積極的な授業参加を望みます。課題及び自らの問いに調べたり考えたりしたレポート（ノート記載）でポートフォリオの作成を工夫してみてください。

12 オフィスアワー等

質問は随時可。但し、事前にメール連絡（松井：mkiyoko@kanazawa-med.ac.jp）が望ましい。

第1学年

看護学原論 I

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
前	1	4月15日(月)	3	講義	ガイダンス、看護とは		基礎看護学	松井教授
前	2	4月22日(月)	3	講義	看護の主要概念 人間とは	レポート/討議	基礎看護学	松井教授
前	3	5月01日(水)	4	講義	看護の主要概念 健康・環境・生活・病気とは		基礎看護学	松井教授
前	4	5月08日(水)	3	講義	ライフサイクルと看護	レポート/グループワーク	基礎看護学	松井教授
前	5	5月14日(火)	3	講義	看護の対象としての家族、地域		基礎看護学	松井教授
前	6	5月20日(月)	3	講義	看護の機能と役割とは チーム医療とは	レポート/グループワーク	基礎看護学	松井教授
前	7	5月27日(月)	3	講義	看護における対象の理解		基礎看護学	松井教授
前	8	6月03日(月)	3	講義	看護の変遷		基礎看護学	松井教授
前	9	6月10日(月)	3	講義	看護理論とは 看護の代表的先覚者の看護の捉え方(ナイチンゲール)		基礎看護学	松井教授
前	10	6月17日(月)	3	講義	看護の代表的先覚者の看護の捉え方(ヘンダーソン)	レポート/グループワーク	基礎看護学	松井教授
前	11	6月24日(月)	3	講義	看護の代表的先覚者の看護の捉え方(ヘンダーソン)		基礎看護学	松井教授
前	12	7月01日(月)	3	講義	看護過程	レポート/討議	基礎看護学	松井教授
前	13	7月09日(火)	4	講義	看護の養成制度、看護基礎教育		基礎看護学	松井教授
前	14	8月19日(月)	3	講義	看護倫理1	レポート/討議	基礎看護学	松井教授
前	15	8月26日(月)	3	講義	看護倫理2 看護学原論1まとめ		基礎看護学	松井教授